市行政	文評価】	'										13
<u>平成</u>	<i>[28年</i>	度	事務	事業評価シー	·	<i>年度実</i>	<u>賃)</u>					
◎基本	情報											
	事業名	i	人	権地域フォーラ	ム開催	事業	担当部署	教	育委員会	会 生涯	学習人権	課
総合計	画体系						根拠為				人権啓発(の推進
基本政策(大項目) 2 ずっと笑顔で 生きがい感じ						る まちづく	り 計画	المحلا	関する	法律		
政策(中項目) 1 ひとにやさしく健康で安らげる						るまち なる	٢	開	 平成	•		4 年度
	(小項	目)	\searrow \lor	、権			事業	始	平风			寸 十尺
				、権の尊重			期間	終	 未定			•
基	基本事業 1			、権行政の推進				期	不 足			
事業	概要(F		N)									
				☑個人	世帯	✓ 団体	<u></u> ₹0	D他	内部 ਿ	管理		
事業	誰(何)を		.IC	鳴門市民及び板野	野郡5町	住民						
対象	している	יענס										
				フォーラムを诵し	.て. 一人	ひとりが人	権に関す	る正し	(理解と	認識を認	深め. 人権	が尊
事業	対象を		:うな状 1指す)の	フォーラムを通して、一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権が尊 重される社会の実現に向けて「共に学び、共に考える」人権尊重のまちづくりを目的と								
目標	か			して開催する。								
				市民に大変好評	を得てし	いる研修会	の一つでね	5り 毎[可会場が	(参加者	でいっぱ	اعرا
	27年度に何を計画し			市民に大変好評を得ている研修会の一つであり、毎回会場が参加者でいっぱいと なっている。								
事業				「ひとごと」から「わがこと」へをキーワードにパネリストや会場からの意見が、参加者								
計画	ていたた	51		の心を揺さぶり「学習者が学習者を換えていく人権学習」として、一人ひとりの人権意 識を磨いていく「語り合いの学習」を開催する。								
				越で磨いていい。	39 D C 10	ひ子自」では	別性りる。					
				指	標名		26年度	27年度	28年度	29年度	[30年度]	単位
成果	 事業目標の達成度合		た 日本の達成度会 (1997年) 1997年 1997									
目標	7.84	事業日保の建成度ロ		参加人数			240	250	250	250	250	人
	金田 / -	207		L				<u> </u>		<u> </u>		
ツ天心	:結果(I 	<i>J</i> ()		同和問題をはじめる	あらゆる人	権問題の解	決を図り、差	別のなし	まちづく	りを推進 [・]	するために	は、広
事業	27年度	は目標	票を達成	域的な教育・啓発を	図る必要な	があるため、「	鳥門市と板里	予郡5町の)共催で閉	昇催し、地	域に根ざし	た人権
実施			段として	啓発の在り方を共に学び共に考えるため、パネルディスカッション形式で人権問題研修会を実施した。								
内容	ているの	ような活動を行っ るのか		日時 平成27年8月5日(水)13:30~16:30								
				場所 うずしお会館2	階 第一部	会議室						
導	事業実施	包手	法	☑ 市実施 [一部委	託 3	託		力金	<u></u> ₹0.) 他	
			指	票名		26年度実績	27年度実績	28年度	1標 29年	度目標 3	0年度目標	単位
舌動指	標 1	アンケー	- トへの [回答数		106	138		250	250	250	枚
実施した事								<u> </u>				

事業	実	施手法	☑ 市実施	□一部委	託		季託	☐ 補助金	7	その他	
指標名						度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業	1	アンケートへの[回答数			106	138	250	250	250	枚
の活動量を示 す指標	2		参加いただき、フォー まぼ理解できたと答			99.1	95.7	100	100	100	%
うな効果が	対象にどのよう 参加人致 うな効果が					230	208	1	1	_	人
あったか示す 指標	目標達成率(実績/目標)					/	83.2	-	1	_	%
今年度の進捗状況 ほぼ計画どおり						事	業全体の	進捗状況	ほ	ぼ計画どお	39

財源内訳	年 度	区分	国	県	地方債	そ	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	203		0	0	72	275
		全体予算額	0	0		0	0	162	162
	亚代07年年	決算額	0	0		0	0	152	152
	平成27年度	繰越額	0	0		0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人) 臨時職員(〔(2,071千円/人)		総人件費	総事	事業費
			0.17 0.0		0.0		1,166	1,	318

【事務事業名:人権地域フォーラム開催事業】

(千円)	
30年度	
162	
162	

	年 度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	267	152	162	162	162
事業費推移	うち一般財源	141	152	162	162	162
	人件費	1,169	1,166	1,166	1,166	1,166
	総事業費	1,436	1,318	1,328	1,328	1,328

◎項目別評価(CHECK)

	學項目別計画(CRECK)									
評価	項目	評価	値	所見欄						
①活動に対	有効性	A:有効性/	があった	市内外から多数の参加者があり、お互いに意見を述べ合う「語り合いの学習」が実現されており、差別のないまちづくりという事業目標の達成に有効である。						
する評価	効率性	A:効率的	だった	パンフレット印刷を発注せず、輪転機での印刷とし、経費 削減に努めた。						
	指標名	参加ノ	人数	昨年度より参加者が減少しているが県外から						
②成果に対	目標	250	人	加者も多く、参加者が研修を通して人権問題を学ぶ 「出会いの場」「交流の場」となるよう継続して開催し						
する評価	実績	208	人	たい。						
	評価	B:概ね目標を達成できた								
③総合的な評価		В	3	毎回、会場から人権に関する理解と認識を深める ための活発な意見交換の場となっているが、目標人 数に達していないためB評価としたい。						

◎今後の方向性(ACTION)										
課題	本市の人権啓発主要行事として定着し、毎回、市内外から多くの参加者が人権教育について「共に学び共に考える」機会となっている。課題として、より多くの市民が、人権に関する正しい理解と認識を深める機会となるよう参加を促すための周知広報を強化していく必要がある。									
今後の方	向性		1.廃止	廃止 2.要改善 3.現状維持		4.拡充	3			
↓今後の	方向怕	生を踏ま	えた上で、以	下の欄に記入してくた	ささい。					
実施内容		28年度	キーワードに ながら、一人 さらなる周	水)、13時30分から、う 、パネルディスカッシ ひとりの人権意識を見 印方法として、徳島新 報等への掲載を実施	ョン形式で、パネリスト 磨く「語り合いの学習」 聞の「情報とくしま」欄	· や当日参加者からの を開催する。)意見を聞き			
	平成	29年度	以降継続実施	拖						